

平成 30 年 1 月

平成 30 年度 実験動物 2 級技術者通信教育実施案内

(通信教育の一環として行うスクーリングが好評です)

公益社団法人日本実験動物協会

通信教育は、実験動物 2 級技術者認定試験（以下「2 級試験」といいます）の学習に活用されているとともに、新入社員教育としてもご好評をいただいています。

また、本通信教育の一環として開催するスクーリング（座学および実習）は通信教育受講者の大半が参加され、とても活気のある研修会となっています。特に 2 級試験受験者には、修了試験に合格した方は実技試験が免除になるという特典があります。毎年修了試験では大多数の方が合格しています（詳しくは備考②をご覧ください）。

つきましては、本年度も実験動物 2 級技術者通信教育を下記の要領で実施しますので、関係各位へご案内くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 通信教育実施期間 平成 30 年 2 月中旬開始、添削課題を全 5 回配付し 7 月で終了。
2. 通信教育教材
 - ①(公社)日本実験動物協会編「実験動物の技術と応用入門編第 9 刷」
[発行:株アドスリー]
 - ②DVD 2 巻「実験動物の飼育管理」および「やさしい動物実験手技」
 - ③通信教育 Q & A 集（受講者からの質問・回答を多数追加しています）
 - ④添削問題は第 1～5 回を 2 月中旬から毎月配付。
 - ⑤発送日：「実験動物の技術と応用 入門編第 9 刷」は受講料の納入を確認後、発行元の株アドスリーより発送、添削課題・DVD・Q&A 集等は協会より 2 月中旬に送付いたします。
3. 申し込み期限 平成 30 年 2 月 28 日（水）
4. 申し込み方法
受講希望の方は申込書に一人一枚、所定の事項を記載し、受講料振込票のコピーを添付して郵便又は FAX でお申し込みください（実務経験の有無に関わらず受講できます）。
5. 通信教育受講料 30,240 円（消費税込み。教材・添削料を含む）
受講料は、郵便振替口座：00180-5-35672 番（公社）日本実験動物協会宛にお振り込みください。払込票をもって領収書に代えさせていただきますのでご承知おき願います。
※入門編第 9 刷または DVD が不要の方は受講料が変わりますので、お振り込み前に当協会へご相談ください（申込書の注 2 を参照ください）。

備考:①本年度の 2 級技術者資格認定試験は、学科は 8 月初旬、実技は 11 月下旬の予定です。
(受験資格：高卒相当以上の学歴、実験動物に関する実務経験が 1 年以上あること)
②スクーリングについては 6 月にご案内します（別途料金が必要となります）。8 月下旬の土日に開催します（東京・京都）。希望者は全員受講できますが、修了試験は当年度 2 級技術者試験受験者であって、「マウス・ラット・その他のげっ歯類」選択者のみが対象となりますのでご注意ください（上記以外の動物種選択者は対象としません）。本修了試験合格者は 2 級試験において実技試験が免除されます。

通信教育申込書送付先：

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-5 九段ロイヤルビル 502 号室
公益社団法人日本実験動物協会

TEL 03-5215-2231（平日 9:30～17:30） FAX 03-5215-2232

この申込書はホームページにも掲載しています。http://www.nichidokyo.or.jp

平成30年度 実験動物2級技術者通信教育申込書			
氏名	がな	性別	男女
生年月日	昭和・平成	年	月 日生 年齢
勤務先	名称		
	所在地	〒	
	電話	内線	番 FAX
	E-mail		
実験動物に関する実務経験年数	年	ヵ月（平成30年11月時点）	
本年度2級試験受験の予定	ある	・	ない（どちらかに○をしてください）
選択動物種			
書類送付先住所	〒	TEL	
※ 受付月日	月	日	受付番号 ※

※欄は記入しないでください。

2級試験を受験予定の方は、下記動物種のいずれを選択されるかご記入ください。

マウス・ラット・その他のげっ歯類、モルモット、ウサギ、イヌ、ネコ、サル類、ブタ、トリ類、魚類・両生類・その他

注1) 振込の際には、通信欄に受講者の名前及び通信教育の受講料であることを明記してください。なお、複数の受講者の受講料を同時に振り込まれても結構ですが、その場合も全員の個人名を記載願います。

注2) 入門編第9刷またはDVD不要の方は受講料振り込み前に当協会へご相談ください。
入門編不要：24,840円、DVD不要：25,920円（いずれも消費税込み）

受領書コピー添付

(のり貼り)

※受領印のあるもの
ATMの利用明細票も可

備考：当協会は本申し込みにより得た個人情報は通信教育および実験動物技術者試験に関連した目的以外の使用はいたしません。

別紙

通信教育及びスクーリングの受講者からこれまで寄せられた

主なご意見、感想など

1. 通信教育全般について

- ①実験動物及び動物実験について、広く深く勉強することができたので、今後の業務に役立てたい。
- ②テキストに沿った課題だったので、認定試験受験のためにもよい勉強となった。
- ③添削問題の出題箇所をテキストにアンダーラインを引いてみたところ、とても細かい部分まで出題されていたことにある意味感動した。
- ④Q & A集がたいへん参考になった。
- ⑤環境が整っていない者にとって通信教育はとても助かる。普段の業務ではあまり動物に接する機会がないので通信教育を通じて自信がついた。
- ⑥テキストを読むだけでなく添削問題を解くことで理解し切れていない部分が明確になり理解が深まった。

2. 通信教育の添削問題について

- ①動物種ごとに各論問題があり、普段学ばない動物種も勉強できた。
- ②細かな点まで解説されている教材の中から、重要なポイントを精査して出題されており学習しやすかった。
- ③誤解答に対して、正しい答えや説明を記入してもらうことでより理解が深まった。

3. スクーリング全般について

- ①講師が熱心に指導してくれたことに感謝したい。
- ②講師は参加者に合わせた指導をしてくれたので、安心して受講できた。楽しく学べたことは業務の上で前進できる第一歩だと思う。
- ③日常の業務の中では手順書に沿って決められた業務を行うのみなので、それ以外の仕事や他社ではどのように取り扱っているかなどを知ることのできる意義のある機会だった。
- ④「百聞は一見にしかず」と感じた有意義な時間だった。これまで見よう見まねで“なんとなく”行っていた作業について、その根拠や理屈が理解できた。
- ⑤普段接することのない動物種（アルビノ以外、新生児など）や器具を実際に目にすることができ貴重な体験となった。
- ⑥日常業務では行ったことのない実技を指導いただき感謝する。今後の業務に生かしたい。
- ⑦動物を扱う際の順化の大切さを教えていただき参考になった。

4. スクーリング修了試験について

- ①学科試験で勉強したことについて実習を通して確認することができてよかった。
- ②直前まで動物を取り扱えること、試験官や他の受験者とコミュニケーションをとることができるので修了試験はよい方法だと思う。

以上